



「恵那市に住む外国人が最初に頼る場所でありたい」と話すのは、同市国際交流協会の事務局長成瀬あいさん(40)＝恵那市明智町＝。

「高校時代、英国を短期で訪

生徒の国際交流支援

れたのが英語に興味を持ったきっかけ」と明かす。大学時代には英国中部の大学で長期間学んだ。結婚後は、同市に移り住み、育児に励みながら、個人的な英語塾を開いていた。昨年4月、事務局長に就いた。

市民に世界へ目を向けてほしいと、バロー創業者の伊藤喜美さんが創立した協会は、中学生のオーストラリア研修などの事業を手掛ける。「子どもたちが国際感覚を身に付ける手助けをしたい」と話す。